

平成26年度から森林整備活動を開始した民間団体の記録

頁	民間団体	活動場所		関係局・署	
		県	市町村	森林管理局	森林管理署
1	イオン株式会社 (イオン東北株式会社)	宮城県	名取市	東北局	仙台署
		宮城県	東松島市	東北局	宮城北部署
		宮城県	仙台市	東北局	仙台署
8	公益財団法人 オイスカ	宮城県	名取市	東北局	仙台署
12	公益社団法人 宮城県緑化推進委員会	宮城県	名取市	東北局	仙台署
17	土木地質株式会社	宮城県	名取市	東北局	仙台署
20	日特建設株式会社 東北支店	宮城県	名取市	東北局	仙台署
24	日本労働組合総連合会 秋田県連合会	宮城県	名取市	東北局	仙台署

注) イオン株式会社(イオン東北株式会社)においては、平成26年度から宮城県名取市で活動を開始し、平成27年度から宮城県東松島市で、平成28年度から東松島市で、平成29年度から宮城県仙台市で、令和元年度から仙台市でもそれぞれ活動している。

団体名	イオン 株式会社（イオン東北 株式会社）
社会貢献の森の名称	イオンの森
活動目標	<p>東日本大震災津波被害で消失した、被災三県の沿岸部の森の再生をおこなうこと。活動の意義を広く伝えるため、植樹活動は地域住民と協力して進めます。</p> <p>イオングループの震災復興支援として平成 24（2012）年 3 月、社内に「心をつなぐプロジェクト」を立上げ、活動当時の従業員数と同じ 30 万本の植樹を目標に活動をスタートさせました。</p>
活動年度	<p>①平成 26 年度～ ②平成 27 年度～ ③平成 28 年度～ ④平成 29 年度～ ⑤令和元年度～</p>
植栽地区の概要	<p>① 箇所：宮城県名取市下増田字台林国有林 89 林班い 1 小班 年度：平成 26 年度 面積：1.57ha 樹種：抵抗性クロマツ 1,000 本、タブノキ 940 本、シラカシ 940 本、ヤブツバキ 750 本、ケヤキ 940 本、ヤマザクラ 930 本、ムクゲ 750 本、マサキ 750 本</p> <p>②箇所：宮城県東松島市大曲字新堀向国有林 546 林班チ小班 年度：平成 27 年度 面積：1.85ha 樹種：抵抗性クロマツ 4,117 本、広葉樹 2,758 本（タブノキ、シラカシ、ヤブツバキ、ケヤキ、マサキ、ムクゲ、ネズミモチ、ヤマザクラ）</p> <p>③箇所：宮城県東松島市牛網字大浮足国有林 548 林班い 2 小班 年度：平成 28 年度 面積：0.97ha 樹種：抗性クロマツ 2,500 本、広葉樹 1,500 本（タブノキ、シラカシ、ヤマザクラ、シロダモ、ケヤキ）</p>

- ④箇所：宮城県仙台市若林区荒浜字田ノ神国有林 88 林班ハ 2 小班ほか
年度：平成 29 年度
面積：0.78ha
樹種：抵抗性クロマツ 4,000 本
- ⑤箇所：宮城県仙台市若林区荒浜字北山国有林 87 林班ヨ 1 小班
年度：令和元年度
面積：0.26ha
樹種：シラカシ 50 本、ヤマザクラ 50 本、タブノキ 330 本、シロダモ 330 本、ツバキ 50 本

活動概要

- ①の箇所（平成 26 年度植栽）参加人数 500 名
②の箇所（平成 28 年度植栽）参加人数 183 名
③の箇所（平成 29 年度植栽）参加人数 230 名
④の箇所（平成 30 年度植栽）参加人数 120 名
⑤の箇所（令和元年度植栽）参加人数 90 名

（名取市台林国有林について）

台林国有林は仙台空港の滑走路の先にあり、広大な海岸防災林は 400 年も前に防砂林・防風林として農業や暮らしを守るために植えられたことを地元の方から教えていただきました。思い出に残る植樹となりました。

（仙台市若林区荒浜田ノ神国有林について）

かつては「深沼海水浴場」として市民に愛された場所。松林を抜けると青い海が広がる風景を未来の子供達に残すため活動を続けていきます。

（仙台市若林区荒浜北山国有林について）

震災から 8 年、平成 24（2012）年に発足した「イオン心をつなぐプロジェクト」では、震災復興への取組み目標の一つとして被災した沿岸部に 10 年かけて 30 万本の植樹を掲げて活動してきました。平成 30（2018）年 3 月、北山国有林の植樹活動で 30 万本の目標が達成されました。

1. 活動への感想

①の箇所（平成 26 年度植栽）

500 名で 7,000 本の植樹を実施し、クロマツ主体の森から広葉樹の混植の森の再生を願い植樹しました。

③の箇所（平成 28 年度植栽）

4,000 本の植樹を実施し、クロマツ主体の森のブロックと広葉樹の森のブロックの植樹をおこない多様な種による森の再生を願いました。

④の箇所（平成 29 年度植栽）

4,000 本のクロマツの植樹を実施し、昔ながらの松林の再生を願い植樹しました。

2. 活動にあたっての工夫

①の箇所（平成 26 年度植栽）

植樹の苗木の周りを藁で円形状にマルチングし活着の向上に努めました。

③の箇所（平成 28 年度植栽）

広葉樹の苗木を松の内側（海岸より）に植樹し活着の向上と風害の予防に努めました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

今後の成長を確認しながら、補植・除草で成長を見守りたいと考えます。

4. 海岸防災林への期待

消失した海岸防災林 600 キロメートルがつながり再生されることを願います。

5. 活動状況

①の箇所（平成26年度植栽箇所）



イオンの森の看板



参加者記念撮影



植栽初年度（平成26年）



植栽5年半後（令和2年）



植樹風景



植樹風景

③の箇所（平成 28 年度植栽箇所）



イオンの森標柱



記念撮影



植栽初年度(平成 28 年)



植栽 3 年半後(令和 2 年)



植樹風景



植樹風景

④の箇所（平成 29 年度植栽）



イオンの森の看板



記念撮影



植栽初年度(平成 29 年)



植栽 2 年半後(令和 2 年)

⑤の箇所（平成 31 年度植栽）



イオンの森の看板



看板設置



植栽初年度(平成 31 年)



植栽 1 年後(令和 2 年)



植樹風景



植樹風景



植樹風景



植樹風景

団体名	公益財団法人 オイスカ
社会貢献の森の名称	名取市民の森
活動目標	<p>当法人は、海岸林を農業・産業・生活を守る重要な「インフラ」と考え、国や自治体等で策定される復興計画等に沿って、被災地住民等の雇用創出（～令和 22 年：11,400 人と試算）を図りながら、100ha 相当の海岸林・内陸防風林等の育苗（50 万本以上）、植栽、下刈・除伐・つる切り等の保育を含む「海岸林再生プロジェクト 10 カ年計画」を、パートナー団体である「名取市海岸林再生の会」（平成 24 年 2 月 29 日設立）をはじめとする地域住民・国内外の支援者、行政当局等とともに実施し、『名取市民の森』として再生することが目標です。</p>
活動年度	平成 26 年度～
植栽地区の概要	<p>箇所：宮城県名取市下増田字台林国有林 89 林班い 1 小班 年度：平成 26 年度 面積：2.91ha 樹種：抵抗性クロマツ（13,150 本）、ヤマザクラ（144 本）、 クリ（153 本）、コナラ（135 本） 【補植：ヤマザクラ（50 本）、コナラ（150 本）、ケヤキ（126 本）】</p>
活動概要	<p>平成 26（2014）年 5 月にクロマツ 13,150 本を植栽し、その後の管理に関しては林業者と全国からのボランティアで行っています。</p> <p>国有林内には 2 カ所に調査プロットを設け、毎年 11 月にモニタリング調査を行っており、令和元（2019）年 11 月時点での最大樹高は 302 cm にまで達しています。</p>

広葉樹に関しては合計 432 本の植栽を行い、同年 8 月に毎木調査を行った結果、生存本数が 106 本（生存率 25%）だったため、翌月 326 本を補植、その後も毎年、毎木調査を行い適宜補植し、現在 432 本の生存を確認しています。

モニタリング調査の詳細につきましては、海岸林再生プロジェクトホームページ（<http://www.oisca.org/kaiganrin/report>）に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

1. 活動への感想

クロマツだけではなく、若干広葉樹も植栽していますが、やはり初期の広葉樹の導入は難しいという印象を持ちました。一般的に広葉樹植栽では年間伸長量が著しい樹種が多いですが、海岸林では先端枯れが目立ち、萌芽更新によって枯損は免れているものの、初期成長は期待できないようです。

ただ、宮城県内の海岸林にもかつてはコナラ・ヤマザクラ・ケヤキなどを見ることもできたようなので、時間の経過とともに広葉樹が生育できる環境が整うのではないかと思います。

2. 活動にあたっての工夫

月に数回、巡視を行っており、小さな異変にもすぐに気付けるような体制をとっています。

林業者をメインに下刈等管理を行い、ボランティアにその補完作業を担ってもらっているため、無駄なく作業ができています。また、ボランティアの方々にも協力してもらい生育調査や開葉調査も行っています。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

今後も協定を5年ごとに延長し、育林活動を実施（～令和22年を予定）。その終了までの間に11,400人を超える雇用を創出するものと試算しており、そのための原資として、当初から計画している10億円の募金活動を継続して行います。（募金は令和3年3月まで）

また、引き続き現場視察、育林作業ボランティア受入、海岸防災林再生に関する報告会・講演会や、巡回写真展などの啓発普及活動などを行い、会計報告を含む活動報告をこれまで通り全てホームページで公開・更新いたします。

4. 海岸防災林への期待

しっかりと本数調整伐などの管理を行い、震災前よりも強靱な海岸防災林が出来上がることを期待します。

クロマツが成長しその後ろや間に広葉樹が育ち自然と混交林になっていくことと思います。動植物も震災前に戻り、人々も気軽に立ち寄れる親しみやすい森になることを期待します。

5. 活動状況



名取市民の森 標柱
平成 26 年植樹祭にて



名取市民の森 看板
平成 27 年設置



植栽初年度
平成 26 年、抵抗性クロマツ



植栽 5 年後
令和元年、抵抗性クロマツ



ボランティアによる作業
生長の悪い箇所の排水路づくり



ボランティアによる作業
広葉樹 2 度目の補植

<p>団体名 公益社団法人 宮城県緑化推進委員会</p>
<p>社会貢献の森の名称</p> <p>宮城林研の森、名取・潮除須賀松の森、プロ野球の森、 環・緑・協の森、グリーンテクノスの森</p> <p>(※協定地を区割りして各区域で活動した団体等が当該活動区域に命名)</p>
<p>活動目標</p> <p>東日本大震災により被災した名取市沿岸地域において、震災復興支援の一環として 海岸防災林の再生と地球温暖化防止に貢献する森林づくりを地域住民や県内団体との協働により行い、海岸防災林再生に向けた気運の醸成を図るとともに、みどりの文化の普及を図ります。</p>
<p>活動年度</p> <p>平成 26 年度～</p>
<p>植栽地区の概要</p> <p>箇所：宮城県名取市下増田字台林国有林 89 林班い 2 小班 年度：平成 26 年度 面積：0.74ha 樹種：抵抗性クロマツ（3,612 本）、コナラ（100 本）</p>
<p>活動概要</p> <p>1 活動の動機</p> <p>海岸防災林の再生が、地域との関わりの中で進められていくことを、震災からの復興に向けた意義ある取組であると捉え、これまでに県土の緑化を進めてきた当委員会が率先して一般県民や県内外の企業・団体と連携しながら再生活動を行うことが、地域を挙げての海岸防災林再生のシンボリックな事例として震災復興の励みになると考えられます。</p>

2 活動の概要

- ① 平成 26 年 4 月 19 日に宮城県林業研究会連絡協議会の会員や宮城県柴田農林高等学校の生徒ら 60 名が参加し、抵抗性クロマツ苗 850 本を植栽、「宮城林研の森」と命名。
- ② 平成 26 年 5 月 4 日、5 月 11 日、5 月 25 日に東京新聞からの協力要請を受けて、当委員会との共催により一般県民ら 240 名が参加し、抵抗性クロマツ苗 1,000 本を植栽、「名取・潮除須賀松しおよけすかまつの森」と命名。
- ③ 平成 26 年 5 月 22 日、5 月 25 日、10 月 28 日に（一社）日本野球機構が、温暖化防止活動の一環である「グリーンリストバンド」売上金の一部を活用した「プロ野球の森」づくりを当該協定地で行うことが決まり、（公社）国土緑化推進機構との三者による協定を調印。
（株）東北楽天球団関係者ら 60 名が参加し、抵抗性クロマツ苗 1,012 本、コナラ苗 100 本を植栽、「プロ野球の森」と命名。
- ④ 平成 27 年 3 月 12 日に国土環境緑化協会東北支部の会員 15 名が参加し、抵抗性クロマツ苗 390 本を植栽、「環・緑・協の森」と命名。
- ⑤ 平成 27 年 3 月 21 日にグリーンテクノス（株）の社員ら 31 名が参加し、抵抗性クロマツ苗 360 本を植栽、「グリーンテクノスの森」と命名。

1. 活動への感想

参加者の声は次のとおりです。

- ・ コンクリートの防潮堤に囲まれて、殺風景な景色にクロマツ林を植えて潤いを持たせたいです。
- ・ 当時の人々の苦労と共に海岸防災林の意義が体に染みわたりました。
- ・ 被災地のためと思うと、どんな苦しいことでもできる思いで植樹活動を行いました。
- ・ こんなに小さな苗が周囲に残った大きな木のようになることを願って、一生懸命に作業しました。
- ・ いつかまた、ここに来て自分が植えたクロマツの成長ぶりを見たいと思うので、長生きします。
- ・ 海が遠のいてしまった感があります。クロマツ林が広がる海になって欲しいと思います。
- ・ とっても楽しかったです。クロマツの苗が早く大きくなってもらいたいと思います。…等

被災地の復興に向けた取組に何か関わりたいという団体や個人は、今なお多数存在し、その一環として津波で壊滅的な被害を被った海岸防災林の再生活動に是非自らも参加したいという自発的な気持ちで、植樹活動に参加していただきました。特に企業においては社会貢献・CSR活動に積極的であり、被災地支援、地球温暖化防止に向けた取組として、海岸防災林再生活動は、理に叶った活動であり、県民や企業、団体の海岸防災林に対する関心が高まりました。

2. 活動にあたっての工夫

一人でも多くの県民に周知するため、様々なメディアを活用して公募したほか、活動結果を公式 HP や広報誌等に掲載しました。また、参加を希望する企業や団体の意向に沿うように準備を行うとともに、苗木の調達は宮城県農林種苗農業協同組合の全面的協力をいただきました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

これまでの植樹活動に参加された企業や団体等が、植栽後の保育活動にも積極的に参加し、かつ自立的活動が持続できるような環境を整えたいと思います。

4. 海岸防災林への期待

災害危険区域（※）の指定により、付近に住めなくなってしまったことから、海岸防災林が住民の生活から距離を置かれ、遠のいてしまいました。かつてのような生活の一部として、キノコ狩りや保健休養といったレクリエーションの場として、地域コミュニティの場として賑わいが戻ることを期待します。

※ 「災害危険区域」とは、建築基準法第 39 条に基づき、地方公共団体が条例で津波、高潮等による危険が著しいとして指定した区域のこと。

5. 活動状況



「名取・潮除須賀松の森」の植樹活動



同左（活動終了後に記念撮影）



「宮城林研の森」の植樹活動地



植樹活動地のその後(R1.9 撮影)



「プロ野球の森」（活動終了後に記念撮影）



2m を超す成長ぶり (R1.9 撮影)

団体名	土木地質 株式会社
社会貢献の森の名称	土木地質の森
活動目標	海外防災林の復旧を通じて、社員に防災林のあり方や防災意識の形成と豊かな国土形成などに携わっているという自覚の育成。
活動年度	平成26年度～
植栽地区の概要	<p>箇所：宮城県名取市下増田字台林国有林89林班い2小班</p> <p>年度：平成26年度</p> <p>面積：0.12ha</p> <p>樹種：抵抗性クロマツ（550本）</p>
活動概要	<p>活動の動機として、弊社は豊かな水と緑のある日本を形成するという理念を基に業務を遂行してきた背景から、海岸防災林造成事業を通して東日本大震災により被災した海岸緑地復興の一翼を担いたいと考え、植樹活動に携わってきました。</p> <p>年に数回、清掃と草刈りの手入れを行い、植樹の育成保護に努めて参りました。</p>

1. 活動への感想

- ・ 植樹という初めての作業でしたが、各人の真摯な姿勢に圧倒されて力が入りました。きれいに整列した植栽木の風景に感動しました。
- ・ 後日、成長した海岸林を子や孫と一緒に見せたいです。着陸する飛行機が間近に見られることを連れ出す口実にできそうです。ときおり、立ち寄って生育状況を確認したいです。
- ・ 植樹したクロマツの一本に、自分木や子供・孫の木としてひそかに命名し、成長を見守りたいです。

2. 活動にあたっての工夫

事前にCADにて植栽計画図の作成と位置出し測量を行い（植栽箇所に竹串でマーキング）、総勢 19 名の社員ボランティア等が一丸となった結果、概ね2時間程度で植樹作業を終えることができました。大勢が初めてといいながら、各人の役割分担ならびに事前の準備作業などを入念に策定・実行したことによる、いわゆる「企業人の強み」を発揮でき短時間で終えたと自負しています。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

「土地地質の森」植栽後、市民団体主催の植栽作業にも社員が参加しており、海岸防災林復旧が全社的に浸透しています。今後も継続的な植栽ボランティアに参加するつもりです。

4. 海岸防災林への期待

あの日あの時まで、津波が仙台平野を襲ってくるとは露ほどにも思っておらず、しかも、海岸防災林が津波の威力を軽減していたことを後日理解しました。

先達者が育んだ白砂青松が津波で壊滅したのならば、私達の世代が育て、子や孫の世代に繋げて、数百年後の防災に役立ってもらいたい。この数年の活動で、その想いを強く感じております。

5. 活動状況



「土木地質の森」看板



看板設置の様子



植栽初年度(平成26年、クロマツ)



植栽3年後(平成29年、クロマツ)



平成26年 防風柵設置



平成30年 欠損防風柵撤去

団体名	日特建設株式会社 東北支店
社会貢献の森の名称	NITTOC の森
活動目標	海岸防災林の復旧を通じて社会貢献を行う。
活動年度	平成 26 年度～
植栽地区の概要	箇所：宮城県名取市下増田字台林国有林 89 林班い 2 小班 年度：平成 26 年度 面積：0.10ha 樹種：クロマツ（450 本）、ヤマザクラ（30 本）
活動概要	震災復興活動、CSR 活動の一環として海岸防災林の再生に取り組むこととし、具体的には、植樹、下刈、追肥を実施しました。

1. 活動への感想

東日本大震災の復興活動に貢献できました。

2. 活動にあたっての工夫

森林管理署 OB の協力、指導を受けながら、下刈、追肥をこまめに行いました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

協定期間内はしっかりと活動する考えです。

4. 海岸防災林への期待

農地や住居地区に対する風害、潮害の防備や生活環境保全に役立って欲しいと思います。

5. 活動状況



NITTOCの森の看板



看板設置



植樹の様子



植栽後の状況



植栽1年
(平成27年4月)



植栽2年
(平成28年4月)



植栽 4 年
(平成 30 年 3 月)



植栽 4 年
(平成 30 年 4 月)



植栽 5 年
(平成 31 年 4 月)



植栽 7 年
(令和 2 年 6 月)

団体名	日本労働組合総連合会 秋田県連合会
社会貢献の森の名称	連合秋田 復興の森
活動目標	復興支援および環境問題・森林保護の重要性を考える活動
活動年度	平成 26 年度～
植栽地区の概要	<p>箇所：宮城県名取市下増田字台林国有林 89 林班い 2 小班 年度：平成 26 年度 面積：0.09ha 樹種：抵抗性クロマツ（500 本）、ヤマザクラ（10 本）</p>
活動概要	<p>（活動の動機） 連合秋田は、環境問題を重要な運動課題と位置づけ、植樹や下刈作業を通じ、森林の持つ多面的機能への理解や自然環境保全を目的とした事業を 1992（平成 4）年より行っています。この取組と震災復興・再生の取組を連動させ、継続的な復興支援と環境問題・森林保護の重要性を考える活動を展開していきます。</p> <p>（活動の概要） 名取市の台林国有林では、2014（平成 26）年度に植樹・標識等の設置を行い、2015（平成 27）年度以降は年 1 回の林内巡視と改植・下刈等保育作業を実施しています。 東松島市の浜須賀松国有林では、2020（令和 2）年度に植樹・標識等の設置を行っています。</p>

1. 活動への感想

植樹から保育作業、改植・下刈などを継続的に取り組むことにより、東日本大震災を風化させない取り組みや環境問題・森林保護の重要性を考える良い機会となりました。

2. 活動にあたっての工夫

- ・ 継続的な取組にするといった観点から、毎年定期的に行いました。
- ・ 植栽区画内で、植樹したクロマツが育ちやすい又は育ちにくい(枯れた)など、場所によって差異があったことから、土壌の入れ替えや改植などを行いました。
- ・ 活動を展開するにあたり、連合秋田傘下の森林労連秋田県協議会(林野労組秋田県協議会)よりアドバイスを受けました。また、林内巡視や保育作業に積極的に関わっていただきました。

3. 今後の活動への抱負・活動予定

継続的な復興支援と環境問題・森林保護の重要性を考える活動を展開していくため、令和2年度より東松島市海岸防災林の再生に向けた活動についても取り組んでいくこととしています。

4. 海岸防災林への期待

東日本大震災を風化させない取組と、植樹をした海岸防災林が立派に生育するよう、各団体の継続的な取組を期待するとともに、森林管理署からの各団体への指導や情報提供などをいただきたい。

5. 活動状況

